

平成29年北海道森づくり研究成果発表会について

企業支援部 普及連携グループ 大西人史

平成29年4月19日（水）に平成29年北海道森づくり研究成果発表会を北海道立道民活動センター かでる2・7（札幌市中央区北2条西7丁目）で開催しました。

昨年の当該発表会は、木材利用部門と森林整備部門で口頭発表の会場が分かれていましたが、今年は同一の会場とし、さらに林産試験場と林業試験場が重点研究の成果を共同発表するなど、林業・林産業を一つの成長産業と捉え、森林研究本部のまとまりを重視して発表会を開催しました。

口頭発表は、一般発表、森林整備部門、木材利用部門で計15課題について行いました。なお、一般発表では北海道森林管理局から1件、北海道の総合振興局・振興局森林室から2件、民間企業から1件、木材利用部門では林産試験場から6件、森林整備部門では林業試験場から5件の発表が行われ、終日多くの参加者に発表を聞いて頂き、各発表に対する質問や意見を頂きました（写真1, 2, 3）。

ポスター発表・写真展では、一般発表が6件、森林整備部門が11件、木材利用部門が16件、計33件のポスターや試作品、製品などの展示が行われ、12時と16時から1時間ずつ設定された2回のコアタイム（説明時間）を中心に、発表者による研究成果の詳しい解説と、参加者との意見交換等が行われたほか、北海道水産林務部森林環境局森林活用課による、「活躍する森林所有者の紹介」写真展と、北海道林業普及指導職員協議会による、日頃の普及指導活動を紹介した「第32回林業普及写真展」が開催され、展示会場は大変な盛況でした（写真4）。また、別室に企業相談コーナーを設け、技術相談などを希望する方々に利用していただきました。

全体の参加人数は455名、そのうち企業・団体からの参加者は212名で、昨年より多くの業界の方に来て頂きました。業界の関心の高さに応じていけるように、今後も積極的に研究・技術支援業務に取り組んでいきたいと思っております。

本誌では当日の発表内容のうち、木材利用部門の口頭発表、ポスター発表を3回に分けて特集します。利用期を迎えたトドマツ人工林材の材質と利用技術についての研究や、木質資源を利用した地域活性化

の検討、ヤナギのおが粉を用いたシイタケの菌床栽培の有用性などの成果についてご一読いただければ幸いです。



写真1 口頭発表会場の様子



写真2 口頭発表会場の様子



写真3 口頭発表の様子



写真4 ポスター発表・写真展の様子